

Vol.81

さい帯血情報

臨床研究がスタートしました

2017/1/1付で、自家さい帯血を用いた下記の臨床研究が高知大学医学部附属病院で開始されることが公表されました。

▶▶研究の名称

「小児脳性麻痺など脳障害に対する自家臍帯血単核球細胞輸血」
—細胞バンクで保管されている自家臍帯血単核球細胞を用いた輸血の安全性研究—

▶▶研究実施責任者

高知大学医学部附属病院小児科 藤枝幹也 教授

▶▶研究期間等

研究期間 平成28年12月16日～平成35年3月31日

登録期間 平成28年12月16日～平成31年3月31日

▶▶目的・意義

小児脳性麻痺は、今までに有効な治療方法はありませんでした。近年、新生児の脳性麻痺など脳障害に対して、臍帯血幹細胞の投与の有効性が示されています。本研究の目的は、副作用を起こす可能性が極めて少ない自家臍帯血を利用しその安全性を確認することと、ついでその効果について確認することです。

この研究は「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に定められた第二種再生医療等に該当し、厚生労働省に届出を行い実施するものです。研究の詳細については、高知大学医学部 小児思春期医学講座ホームページ (http://www.kochi-ms.ac.jp/~fm_pdatr/) をご確認ください。